

# 地方創生に向けた 新たなまちづくりへ

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の輝かしい幕開けを迎えるにあたり、謹んで新春のお慶びを申しあげますとともに、町政に対しまして、日ごろからご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、1月に行われました有明海沿岸道路（Ⅱ期）の整備促進総決起大会にはじまり、金魚の館50万人突破、海フェスタ・くまもとの開催、長洲港みなと憩い広場の完成など多くの出来事がありました。また、中学3年生までの医療費無償化、総合教育会議の開催、地域雇用創造協議会の発足など、医療・産業・教育など各分野で新たな事業がスタートした年でもありました。

そのような中、町では自立的で持続的な社会を創る「地方創生」に向け、昨年10月に新たな基本戦

略となる「長洲町まち・ひと・しごと創生」総合戦略を策定しました。今後は、総合戦略に基づき、定住化の促進をはじめ、ミニトマト、金魚、アサリ、海苔など町の地域資源を活用し、地域活性化に向けて魅力あふれる事業展開を図り、活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

また、新たな福祉のまちづくりとして、町内に整備しております介護予防拠点施設の中心となる「高齢者支援施設」を4月から開所いたします。これまで、町では、町内の介護予防拠点施設を中心に健康体操などの介護予防活動を推進してまいりました。そのような中、介護保険法の改正により要支援者に対する事業主体が市町村へ移行することになりました。今後、町では高齢者支援施設を中心に、これまで整備してきた介護予防拠点施設・要支援者への公的

サービスが互いに連携し高齢者を支えていく「長洲町独自のサービス」を行っていくとともに、高齢者の皆さんが一人一人自分らしく暮らすことができる「安心・安全なまちづくり」を推進してまいります。

また、人口減少解消に向けての定住化対策は喫緊の課題であり、これまで進めてまいりました出町地区の宅地開発をはじめ、長洲駅南側の再開発、空き家の再利用などを検討し、定住化対策をより一層推進してまいります。

内水面業や水産業の分野におきましても、金魚の町である特性を最大限に生かし、金魚養殖業のさらなる振興に努めてまいります。また、5億円生産高を誇るミ

ニトマトをはじめとした農業も引き続き支援し、一次産業の振興に努めてまいります。

未来のまちづくりに向けて、有明海沿岸道路の長洲町までの早期整備は、町の発展を考える上で欠かすことができないものであります。昨年9月には荒尾競馬場跡地で「中心杭打ち式」も実施されたところであり、今後も各関係機関と一丸となって要望活動などに取り組み、早期実現を目指します。

本年は、町にある地域資源を再度見直し、それらを再び最大限活用した地方創生推進の年として全身全霊取り組んでまいりる所存でありますので、町民の皆さんの変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

